



第543号

学校だより

4月号

横浜市立東本郷小学校

令和4年4月7日

ひとにやさしくありがとうの^{こころ}で ^{さいら}がんばる^{さいら}最後まで ^{ほんま}本気で^{とく}取り組む^{ひが}ひがほんの子^こ



心に期して迎える 新しい春

学校長 ^{どうごし}堂腰 ^{やすひろ}康博

はらはらと舞う桜の花びらをキャッチしようと、子どもたちが遊んでいる姿が見えます。

お子様のご入学、ご進級おめでとうございます。久しぶりに顔を合わせた子どもたちは、担任をはじめ教職員からのあいさつに新年度の始まりを実感し、明日からの学校生活に思いをはせていることと思います。出会いへの希望や学びへの期待を真摯に受け止め、令和4年度をスタートいたします。

今年度、東本郷小学校の校長として着任しました堂腰康博と申します。前職の横浜市こども青少年局では、子どもの立場からものごとを考え、一人ひとりの育ちと学びを支える幼児教育施設や学校のために仕事をしてきました。子どもたちには、もともと自ら成長していく力が備わっていることをたくさん見てきましたが、その上でなお、もっと学びたい、変わりたい、誰かの役に立ちたい、よりよく生きたいという思いを育み、後押ししていくことこそが学校の役割ではないかと、今思っています。人と意見が違っても胸を張って「わたしはこう思う」と言える子どもたちを、そして「その子らしさ」を温かく認め合える子どもたちを、この学校で育てていきたいと強く思っています。

新型コロナウイルスの感染状況に対応しながらの教育活動がまだまだ続くと思いますが、「人にやさしく ありがとうの心で ^{さいら}がんばる^{さいら}最後まで ^{ほんま}本気で^{とく}取り組む ^{ひが}ひがほんの子」の学校教育目標の下、学校職員一丸となって子どもたちを大切に育ててまいりますので、保護者、地域のみなさまには、これまで同様ご支援・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

さて、緊迫するウクライナ情勢に関する情報に触れる機会が増え、子どもたちも心を痛めていることと思います。一刻も早い停戦を願わずにいられません。ご存じの方もいらっしゃると思いますが、横浜市は、国際連合から称号を受けているピースメッセンジャー都市として国際平和の大切さを呼びかけてきました。2001年の国際会議では、「横浜の子どもたちから世界中に平和の風を吹かせたい」と、『よこはま子どもピースアピール』が採択され、みんなが安心して笑顔で暮らせる世界、明日に希望がもてるみんなにとってやさしい世界、自然にもやさしい世界、そんな真の平和を実現するために考え行動していこうと呼びかけてきました。

わたしは、東本郷小学校の子どもたちとも、それぞれの学年の子どもたちに応じて平和について考える機会を大切にしていこうと思います。まずは隣にいる友達の笑顔を大事にすること、そしてクラスの友達、学校中のみんなの笑顔を大事にできる、そんな自分になるためにどうすればいいか、子どもたちの足元からいっしょに考え、その先の行動、誰もが安心できる社会へとつなげていきたいと思っています。みなさま、どうか見守っててください。